

民間委託による水泳授業実証事業の検証について

実証事業の概要と期待される効果

(1) 事業概要

今後の水泳授業のあり方を検討するにあたり、民間施設を活用し、民間の指導員による水泳授業を実施することで、その効果について検証を行う。

(2) 期待される効果

- ・児童が民間の指導員から指導を受けることにより、専門性の高い指導が期待できる。
- ・教員と民間指導員を合わせ、より多くの指導員が関わることで、より高い安全性を確保できる。
- ・気温や天候に左右されず、民間の温水プール施設を利用できるため、計画的に水泳授業を実施することができる。
- ・学校のプール施設の維持管理にかかる負担を軽減することができる。

水泳授業の実施概要について

(1) モデル校

桑名市立大山田西小学校 95 名（全学年：令和 7 年 5 月 1 日現在の児童数）

(2) 委託先

津田スイミングスクール大山田校

(3) 移動手段

徒歩（移動時間約 15 分）

(4) 日程

令和 6 年 6 月 5 日、6 月 13 日、6 月 20 日、10 月 16 日、11 月 14 日

令和 7 年 5 月 22 日、5 月 29 日、6 月 5 日、6 月 12 日、9 月 25 日

いずれも 5 日間（10 授業時数分）

(5) 指導方法

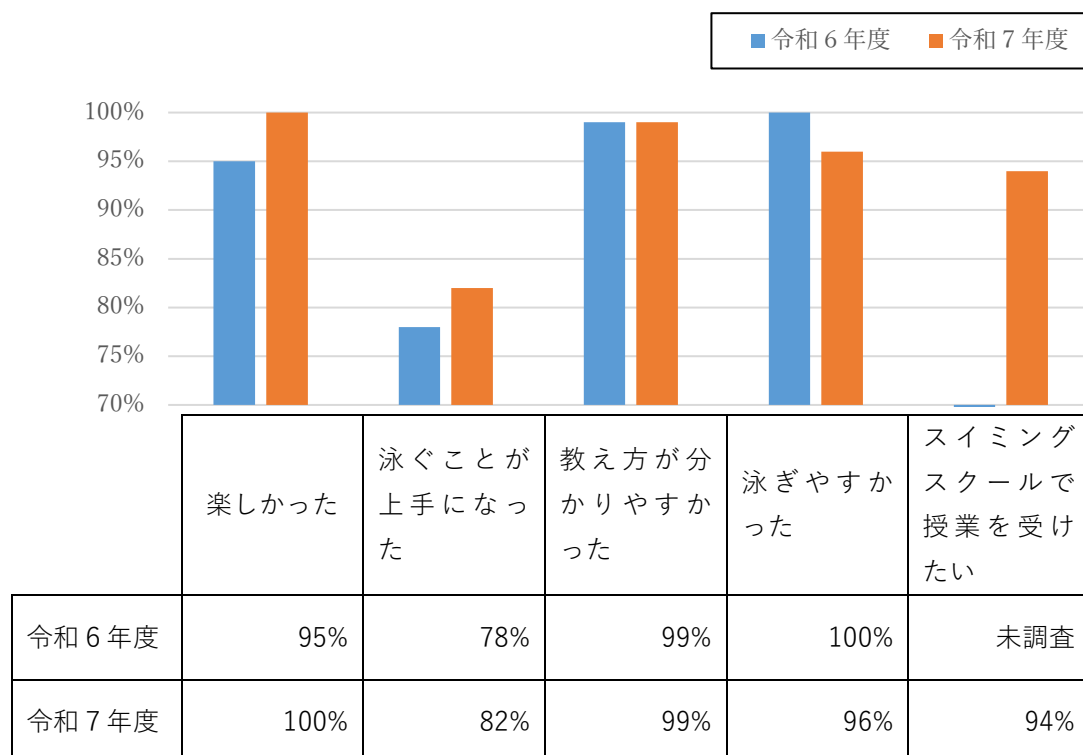
- ・3学年（1～3年生、4～6年生）を1ユニットとし、前半と後半に分かれ、午前中に授業を行う。
- ・指導人数は1名の指導員につき児童15名程度とし、泳力別に指導する。
- ・教職員はプールサイドから監視及び評価等を行い、特別に配慮を要する児童に対しては教職員も入水する。
- ・1回につき50分程度の入水時間を確保する。

アンケート結果について

令和6年度と令和7年度の事業実施後に、児童、保護者、教職員を対象にアンケート調査を実施した。

(1) 児童アンケート調査

① 設問回答比較



概ね全員の児童がスイミングスクールでの授業を「楽しかった」「教え方が分かりやすかった」と答えており、そのことが泳力の向上につながったと考えられる。また、94%の児童が「今後もスイミングスクールで授業を受けたい」と答えている。

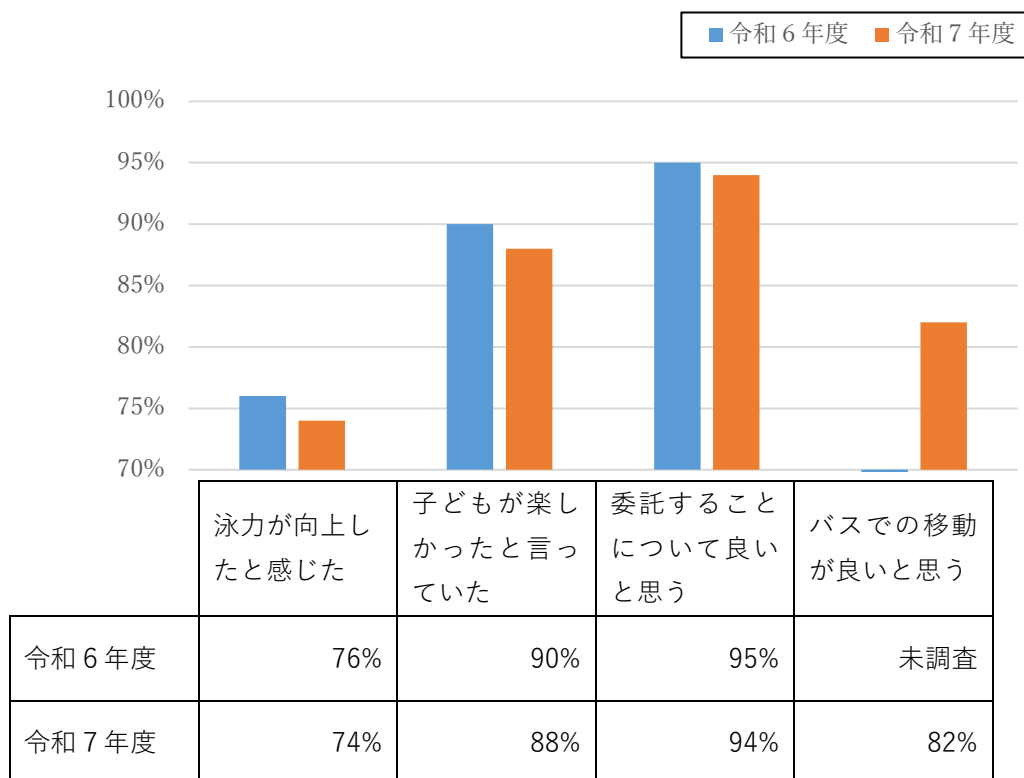
②自由記述回答（令和 6 年度）

スイミングスクールで授業を受けて、良かったことや困ったことに関する自由記述を傾向毎に分類すると、最も多かった意見は、「泳げるようになった、上達したという意見」、続いて「指導員の指導が良かったという意見」、「水泳授業が楽しかった、良かったという意見」、「プール施設が良かったという意見」と続いている。（複数区分に関わる意見が記入されている場合には、該当する区分に複数回記載をしてカウント）

意見の区分	件数
① 泳げるようになった、上達したという意見	29件
② 指導員の指導が良かったという意見	26件
③ 水泳授業が楽しかった、良かったという意見	19件
④ プール施設が良かったという意見	17件
⑤ その他	4件

（２）保護者アンケート調査

① 設問回答比較



授業の様子を見学する機会がなかったため、泳力が向上したと感じた保護者は 75%程度にとどまっているが、水泳授業を民間委託することについては約 95%の保護者が「良いと思う」と答えている。

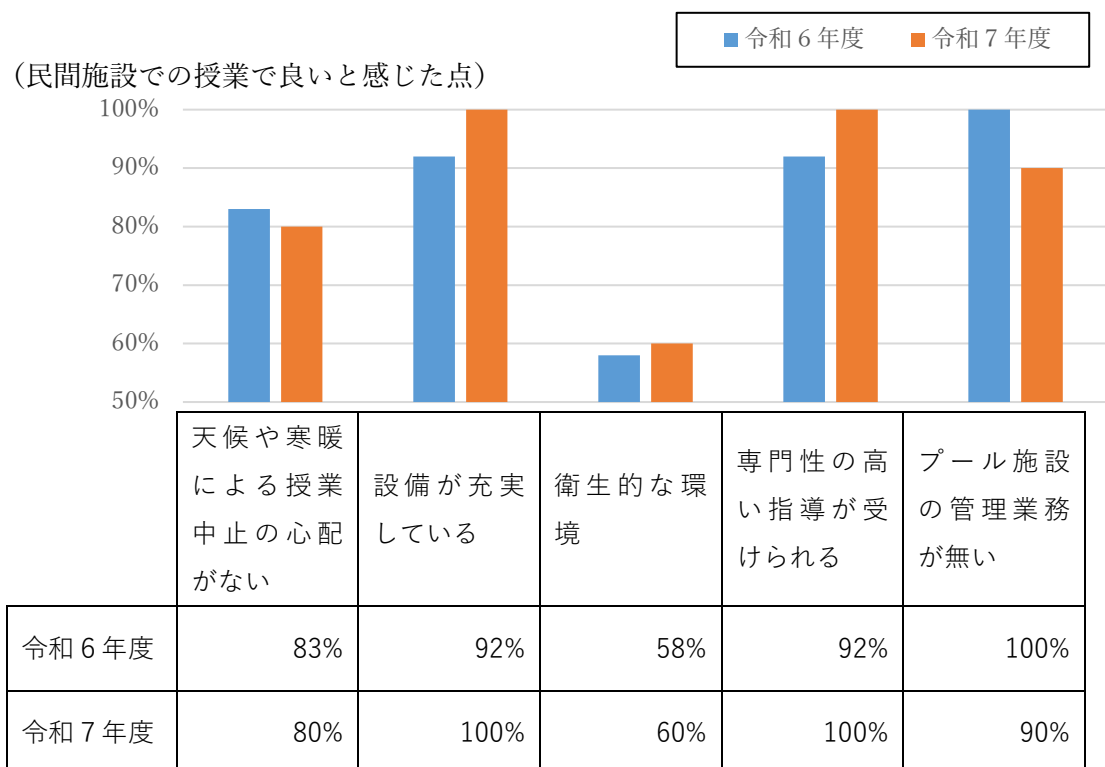
②自由記述回答比較

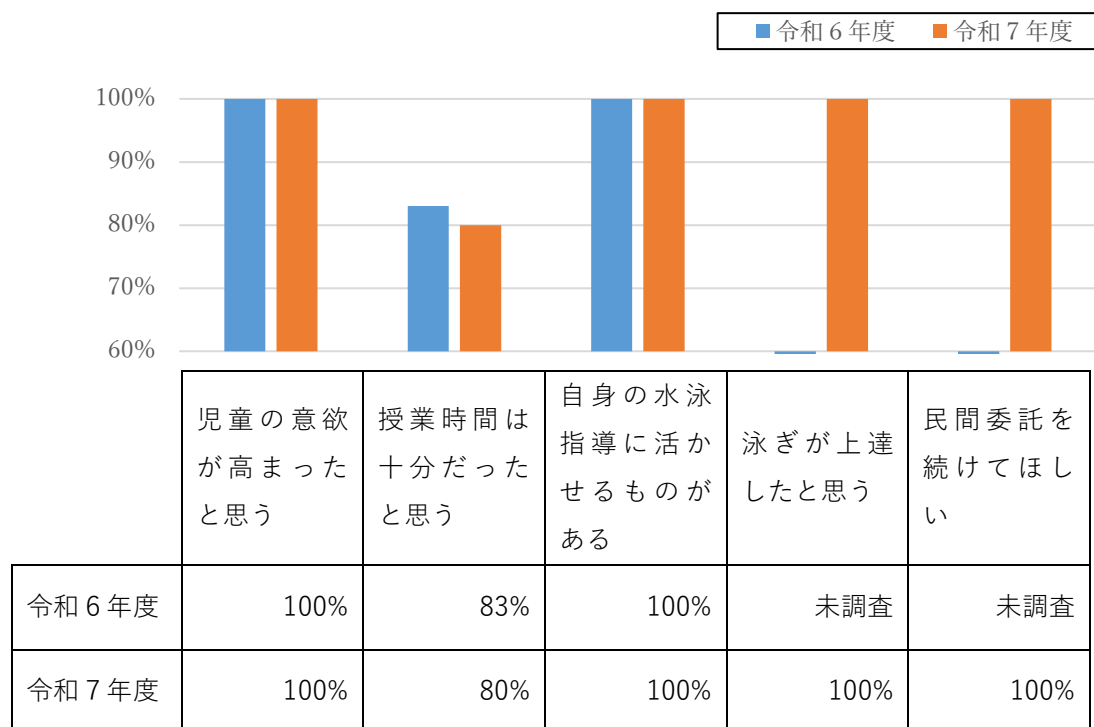
水泳授業を民間委託することに対する自由記述の傾向毎に分類すると、最も多かった意見は、「専門的な指導が受けられて良かったという意見」、続いて「プール施設が良かったという意見」、「見守り体制等が充実しているという意見」と続いている。（複数区分に関わる意見が記入されている場合には、該当する区分に複数回記載をしてカウント）

意見の区分	令和 6 年度	令和 7 年度
	件数	件数
① 専門的な指導が受けられて良かったという意見	3 3 件	3 5 件
② プール施設が良かったという意見	1 8 件	2 0 件
③ 見守り体制等が充実しているという意見	1 0 件	1 3 件
④ 教員の負担軽減になるという意見	9 件	1 2 件
⑤ 移動等について心配する意見	9 件	0 件
⑥ 継続してほしいという意見	4 件	6 件
⑦ 子どもが泳げるようになった、上達したという意見	3 件	2 件
⑧ 授業数を増やしてほしいという意見	0 件	3 件
⑨ その他	7 件	1 8 件

（３）教職員アンケート調査

① 設問回答比較





令和7年度のアンケートでは、児童の意欲の高まりや泳ぎの上達について、具体的な記述を求めた。児童の意欲の高まりについては、2年間を通してすべての教職員が高まったと答えており、「学校で実施していた時に比べ水泳の授業を楽しみにしている姿が見られた」、「専門の指導員の声掛けにより個々の泳力に応じて向上が見られた」との意見があった。

また、児童の泳力についても、すべての教職員が上達したと感じており、「顔を水につけることができなかった児童がバタ足で泳げるようになった」、「泳力が倍以上に伸びた※1」などの意見の他、「指導員による手厚い指導は職員では不可能であり、そのような環境も上達につながっている」という意見があった。

	5月22日	6月12日	9月25日	
A	12.5	23	25	+12.5m
B	8	10	7	+2m
C	15	15		
D	6	5		
E	12.5	18	18	+5.5m
F	7	7	12.5	+5.5m
G	12.5	25	15	+12.5m
H	5	6	5	
I		13	15	+2m
J		15		
K	8	5	5	
L	5	14	12.5	+9m
M	7	13	15	+8m
N		13	5	

中級程度の泳力があるグループの高学年（4～6年生）の泳力測定結果より、泳力が伸びた児童は14名中8名（57%）倍以上に伸びた児童は4名（29%）であった。

※1 具体的な事例
アンケート結果の詳細は別紙参照

アンケートの分析について

- ①多くの児童（約 80%）が、泳力の向上を実感していること、保護者（約 75%）、教職員（100%）も児童の泳力が向上したと答えていることから、民間委託での水泳授業は泳力の向上に効果があると認められる。
- ②多くの児童（99%）が「教え方がわかりやすかった」「プールが泳ぎやすかった」と答えていることから、より良い環境で専門的な指導による授業が実施された。
- ③民間の施設で専門の指導員が指導することについて、多くの保護者（約 95%）が肯定的な回答をしていることから、保護者にも一定の理解を得られている。
- ④多くの教職員（約 95%）が「専門性の高い指導を受けられる」「施設設備が充実している」と答えていることから、よりよい環境での専門的な指導が児童の泳力向上につながっていると考えられる。
- ⑤多くの教職員（約 95%）が「プール施設の管理業務がない」ことについて良いと答えており、水泳授業を民間委託することで教職員の肉体的、精神的負担を軽減し、働き方改革にもつながっている。
- ⑥多くの児童（94%）、保護者（約 95%）、教職員（100%）が来年度以降も民間委託での水泳授業を希望している。

以上のとおり、児童、保護者、教職員ともに、水泳授業の民間委託について肯定的な意見が多くを占めており、児童の安全面・衛生面の確保や、専門性の高い指導及びプール施設の維持管理にかかる教員の負担軽減等において大変高い効果が認められた。

実証事業の検証について

（事業の効果について）

①管理体制の充実

1 グループ（15 人程度）に対し、レベルに応じて 1~2 名の指導員が指導にあたり、教員はプールサイドから監視及び成績評価をすることによって、より多くの大人が関わることで、授業の安全を確保できる。

②授業回数の確保

天候に左右されることなく授業を実施できるため、あらかじめ定められたカリキュラムを確実に実行することができる。

③児童の泳力向上

専門的な知識を持つ指導員の指導を受けることで、児童の能力に応じた正確かつ質の高い泳法を取得することができる。

④教員の負担軽減

プールの維持管理や天候による授業の実施の可否など、教員の負担を大幅に軽減することができる。

（課題及び改善結果について）

①民間施設への移動方法

徒歩で約 15 分程度移動するため、暑い時期や寒い時期を避けて実施する必要がある。

→1 年目は最終の授業を 11 月（本来は 10 月終了予定だったが、9 月の実施日に猛暑が予想されたため、11 月に延期）に実施したため、移動する際の寒さが心配された。2 年目は令和 6 年度に比べ 2 週間早く水泳授業を開始し、最終の授業を 9 月としたことにより、寒さに対する心配の声は聞かれなかった。

今後の水泳授業の方向性について

今回の実証事業により、水泳授業の民間委託について高い効果が認められたことから、その検証結果を踏まえ、プール施設の老朽化により大規模改修が必要となった小学校については、順次、民間委託へと移行する方向で検討する。

中学校においては水泳授業のあり方も含めて検討を行い、民間委託とプール施設の改築等における費用対効果も踏まえた上で、関係所管で連携を図り、令和 8 年度末を目途に桑名市立小中学校の今後の水泳授業及びプール施設のあり方に関する基本的な考え方を定めた計画を策定する。